

地域密着型特別養護老人ホームわかば
令和6年度 第5回 運営推進会議

施設長	作成

開催日時		令和6年12月27日(金) 午前11時～午前12時00分	
開催場所		特別養護老人ホームわかば 1階 会議・研修室	
サービス区分		地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	
出席者の状況	委員（職種）	委員数（10）名／出席（9）名	
		（利用者代表）	（家族代表）
		（地域代表）	（市町村職員）
		（第三者委員）	（知見を有する者）
	職員（役職）	（中央包括職員）	
		（特養わかばイースト施設長）	
		（特養わかば生活相談員）	
報告事項		出席者紹介 <ul style="list-style-type: none"> ● 活動状況報告 ● サービスの質の向上にかかる事項 ● その他、意見交換 	

次第

出席者：別添資料（スライド②）に構成メンバーを記載。

開催にあたり、参加予定の地域代表が都合により、欠席となる旨の報告が行われる。

● 地域密着型特別養護老人ホームわかばの活動状況報告

1. 活動状況報告（スライド③～⑤）

令和6年度10月～11月度における稼働推移についての報告。10月度、11月度とも定員に対する満床稼働で終了。

- 男女別稼働件数推移（7%：93%）、ユニット別稼働件数推移
- 要介護度別利用者数推移

要介護度区分3の方が3名、要介護度区分4の方が17名、要介護度区分5の方が9名の構成。

要介護5認定者 9名(31%)

要介護4認定者 17名(59%)

要介護3認定者 3名(10%)

2. ユニット別平均要介護度、平均年齢（スライド⑥）

施設全体平均要介護度は4.2(女性：4.2、男性：4.0)前回報告より0.1ポイント増。

年代構成は60歳代×1人

80歳代×11人

90歳代×17人

- サービスの質の向上にかかる事項

3. 人員体制（スライド⑦）

介護職員に占める介護福祉士の割合（13名中10名＝76.9%）。

初任者研修修了者の内2名は実務者研修修了見込みであり、今年度の国家資格試験に臨む。

介護職員における無資格従事者は0人。

4. 事業所の取組み（スライド⑧）

- ・ 嘱託医の往診 2回／月（隔週(第1・3)月曜日)
- ・ 理美容サービス 1回／月（不定期で追加日程を設けている）。
- ・ セブンミール 2回／月（第2・第4木曜日）開催。
- ・ わかば栄養サポートチーム 毎月1回開催。
- ・ 行事等

各会議の開催は配布資料の通り。

消防署の立ち入り検査（10/10）における指摘事項等なし。

BCP 消火訓練（11/12）実施済み

建築基準法第12条関係定期検査（10/18）実施済み。県への報告も提出済み。

インフルエンザ予防接種（11/11）お客様、職員とも接種済み。

5. 職員研修状況（スライド⑨）

年次研修実施報告。

- ・ プライバシー保護の取組に関する研修（10/15）実施済み。
- ・ 倫理・法令順守研修（10/15）実施済み。
- ・ 感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する研修（11/12）実施済み。
- ・ 施設内感染を想定したBCP訓練（11/12）実施済み。

※なお、研修に参加できない職員は全員レジュメに沿ったレポート提出を義務付ける。

6. 苦情、事故、ヒヤリハットについて（スライド⑩～⑫）

- ・ ヒヤリハット報告

Aさんに配膳されたお味噌汁を同じテーブルに着く別のお客様が自分の分と認識し飲んでしまった。誤認しない配膳が必要。

- ・ 事故分類

通期として、「外傷」が全体の90%。背景には入浴支援時や衣服の着脱介助時に確認した皮膚観察の高まりから報告件数の増加。

- その他 報告事項

毎年10月度に実施している自己評価の実施報告総括として課題点について報告。

実習生の受入れやボランティアの受け入れなど施設機能を地域に貢献できる態勢の検討が必要。

また、介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施する体制確立は整備中（基本研修修了者は4

名)。

● 参加者からの意見・ご提案等について、

(ご家族様)

- 事故報告やヒヤリハット報告があったが、職員数が少ないと見守りなど十分対応できていないのではないかと。職員数を増やすことはできないか。

採用募集は随時行っている。業界全体で人員不足が強まっている。今回の報告の背景には人手より異動等による経験値が影響している。

(地域代表)

•

(第三者委員)

- この管内で「変死」扱いとなった事案が 100 件以上ある。孤独もあったが家族と同居している中でのヒートショックによる事案もあった。全体の半数は何らかの介護サービスを利用していない人であり、そういった人の対応も考えてほしい。

(知見を有する者)

- 地域において、介護サービスの必要と思える方への声掛け、介護保険サービスへの紹介など行っている。

(市町村職員)

- 先ほど管内での話があったが、職員としても個別訪問は継続的に実施しているが強制力がないため、どこまでも踏み込めるといったものでもない。つながっていない人をどのようにしていくか。地域で協同している民生委員さんなどと連携しながら、信頼を得るように働きかけている。

(イースト施設長)

- 先日、地域の方から電話があり「近所の方の自宅に明かりが灯らない。〇〇のロゴの車が止まっていたこともあったので電話した」との内容。個人情報の扱いもあるなかで、お客様の特定ができ、入院されていることが判明。ロゴを認識していただけたこと、地域に安心感を持っていただけたこと、うれしく感じる。

次回の開催予定月は偶数月の2月度の開催として調整。